

だばはぜ 通信



サッパ号

9月定例クリーンアップ&生き物調査

【活動報告1】

9月28日(日) 10:00~11:30 晴れ

河本充雄

実施範囲：泥牛橋～大道橋 **回収したゴミ**：土嚢袋3袋

参加者：関場俊子、関場頼(小5)、寺沢せりな(小5)、寺沢あおい(小3)、浦知美、佐野真吾、佐野汀(6才)、佐野畔(2才)、松嶋良次、松嶋律樹(小5)、宮崎敏弘、宮崎風杜(小5)、小池碧馬、阿部眞基、島崎輝渡、河本充雄(計16名)

気づいた点：水量が少なかった。泥牛橋の下流のアシガ
残っているところにゴミが溜まっていた。

確認した生き物：チヂブ、ビリンゴ、ヒナハゼ、スミウ
キゴリ、クロベンケイガニ、モクズガニ、アサヒナカ
ワトンボ幼虫、コシボソヤンマ幼虫、コヤマトンボ幼
虫、シオカラトンボ幼虫、アオモンイトトンボ(目
視)、ギンヤンマ(目視)



回収したゴミ

サッパ (拶双魚) 学名:*Sardinella zunasi*

ニシン目コノシロ科の海水魚で体長約15センチほどの小型のニシンの仲間である。
体高があり平べったい形をしていて、背側は青緑色、その他の魚体は銀白色の硬い
鱗に覆われている。

北海道以南からフィリピンにかけての沿岸域に生息する。

海水魚ではあるが、一生を通して汽水域で生活することが多く、
他のニシンの仲間とは違い大きな回遊は行わない。

侍従川でも河口域で頻繁に目撃
することができる。



五月女陽斗

ハゼ釣り大会

10月4日（土）9：30～14：30

【活動報告2】

金子英司

10月4日にハゼ釣り大会を実施しました。スタッフ含めて16名の方に参加いただきました。

釣り場は汐見橋付近、ハゼ類の魚影は薄く、代わりにコトヒキが多数釣れました。直前まで開催を悩むほどの天気で、寒く、小雨が降る中にも関わらず、皆、夢中になって釣りに勤しむ姿が印象的でした。残念ながら釣れなかった人も居ましたが、多くの方は何かしらの釣果があった様なので良かったです。

午後には六浦地区センターの調理室をお借りして釣れた魚を天ぷらにしました。

高校生2人組が他の子たちにも教えながら魚を捌いており、最後の片付けまで皆主体的に取り組んでもらって良かったと思います。

自分達で釣って自分達で調理し食べた魚は美味しいかったのではないでしょか？

今回釣れた方も釣れなかった方も今回参加できなかつた方も含めて、また来年も企画したいと思いますので是非参加してください。

釣れた魚：
マハゼ、ウロハゼ、チヂブ、コトヒキ



11月定例クリーンアップ&生き物調査

11月23日（日）10：00～12：00 曇

【活動報告 3】

河本充雄

実施範囲：泥牛橋～大道橋 回収したゴミ：土嚢袋4袋

参加者：寺尾勝廣、山田陽治、金子英司、小池碧馬、三浦智、滝沢優斗（小6）、牛丸忠信（小6）、二瓶光佑（小6）、小笠原愛斗（小5）、河本充雄（計10名）

気づいた点：高舟台小の先生と子どもたちが参加してくれました。泥牛橋下流のアシの根元にペットボトルなどのゴミがたくさん溜まっていました。フジツボが付いたペットボトルもあったので、海から満ち潮に乗って流れてきたものと思われます。

確認した生き物：マハゼ、チヂブ、スミウキゴリ、ビリンクゴ、シマヨシノボリ、ヒナハゼ、メダカの仲間、テナガエビ、ミゾレヌマエビ、モクズガニ、コシボソヤンマ（幼虫）、シオカラトンボ（幼虫）、イシマキガイ、カワニナ、カルガモ、ヒドリガモ、アオサギ、コサギ、ハクセキレイ



アシの根元に溜まっていたゴミ



生き物採りの様子



生き物の解説を聞く子どもたち



回収したゴミ

トピックス

9／20（土）横浜すきっぷ保育園が侍従川で魚捕り…山田が対応

10／26（日）定例クリーンアップ&生き物調査は雨天中止

10／28（火）関東学院六浦小学校3年侍従川で生き物の観察…山田が対応

11／ 1（土）観音崎自然博物館による侍従川生き物観察会

11／ 4（木）神奈川県横浜川崎治水事務所により明戸橋周辺の堆積土砂掘削工事

大道一丁目緑地の工事終了と今後について

代表 山田陽治

6月末より始まった大道一丁目緑地の桜伐採工事が11月に終了しました。

12月4日(木)、大道一丁目緑地の今後のデザインについて、金沢土木事務所の下で、公園愛護会と水辺愛護会とふるさと侍従川に親しむ会とで話し合いをしました。

今現在ベンチが4つあるだけですが、以前同様の縁台(テーブルのような台)改めて設置。あと、河津桜を2本植栽することになりました(市場に出回っていない場合は違う樹種になります)。日陰を作るには小さいのですが、極力大きめの桜を植えるとの事でした(以前のような高木にはならない樹種ですか)。



当初は、工事後は現在の形…ベンチが4つあるだけ…で最終形態となるところでしたが、皆様の思いで(理想形では無いにしろ)多少改善することができました。

川の中も工事がある際は、必ずこちらの意見を聞いたりして、デザインや工期について、こちらの意見を最大限配慮してもらう形になりました。

何かありましたら、このLINEグループで発信していただいても良いのですが、行政の担当部署に連絡することも力となるので、声を上げていただけると幸いです。

なお、今回の工事については2~3月の2~3週間となります…その間は再び全面封鎖となるようです。

定例クリーンアップと重ならないと良いのですが…水辺愛護会が毎月第二土曜日なので調整が難しいかもしれません。

以上ご報告でした。

侍従川水族館展示報告(その1) 今井康、今井翔、寺尾、遠藤、河本

9月27日(土)、28日(日)に大道コミュニティ文化祭で「侍従川水族館」の展示を行いました(27日はフレンドまつりと同時開催)。

大道コミュニティ文化祭には、以前はよく参加していたのですが、今回は久しぶりの参加になります。

侍従川流域にいる(いた)、ハゼ類、アユ、ウナギ、テナガエビ、モクズガニ、クサガメ、ヤマアカガエル、モリアオガエル、アカハライモリ、



展示の様子

ニホントカゲ、カナヘビ、アオダイショウ、シマヘビなどの生き物と、活動紹介パネルの展示をしました。

大人も子どもも興味津々で、たいへん賑わいました。特にタッチスネークは、いつもながらの人気で、皆さん次から次へとヘビを触っていました。子どもたちは生き物と触れ合うことが出来て大満足のようでした。



大人気のタッチスネーク

侍従川水族館展示報告（その2） 今井康、今井翔、山田、柴田繭、柴田真、遠藤、河本
11月1日（土）、2日（日）の2日間、金沢動物園の Zoo to Wild Fes Autumn ~人と自然の関わり～でも「侍従川水族館」の展示を行いました。

今年で3年連続の展示になります。

展示の内容は、上記のコミュニティ文化祭と同様、侍従川流域にいる（いた）生き物と、活動紹介パネルです。

2日とも、多くの方に、金沢動物園の近隣を流れる侍従川の生き物、侍従川の魅力について知ってもらうことができました。



生き物にかぶりつきの子どもたち



金沢動物園の公式マスコット コアラの妖精「金沢ゆ一かりん」と山田代表

事務局だより

◆1月～3月の活動予定

☆定例クリーンアップ&生き物調査

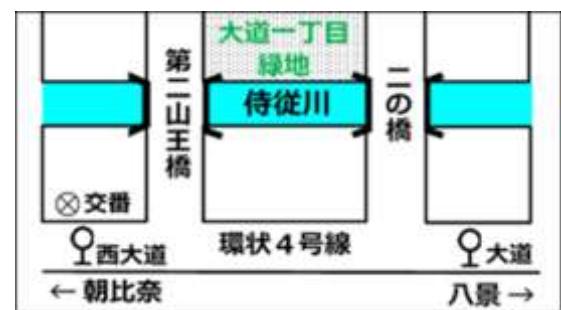
1/25(日)、2/22(日)、3/22(日)

10時～11時 大道一丁目緑地（旧称ちとせ園）

持ち物：川に入る格好、タオル、軍手（必要な人）、網（使いたい人…貸出あり）、着替え（心配な人）

※川の上からの参加でも構いません

※雨天中止（中止の場合は、LINE グループでお知らせします）



★大道渓谷整備作業&ホトケドジョウの個体数調査 申込み不要

昨年度も多数のホタルを観察することができましたが、ホタルの個体数維持には冬季の生息環境の整備作業が欠かせません。皆様のお力を貸していただき、大道渓谷の整備ができるたらと考えております。皆様の参加、お待ちしております。

【日程】1月24（土） 【活動時間】10：00～15：00頃 ※雨天中止

【集合】10：00に大道中学校体育館前 【対象】どなたでも

【活動内容】ホタル生息環境保全を目的とした草木の伐採や水路の土砂除去作業
ホトケドジョウの個体数調査

【持ち物】軍手、長靴もしくは胴長、タオル、飲み物、スコップ（ある人）、のこぎり（ある人）、剪定鋸（ある人）、草刈り鎌（ある人）、その他鉈等伐採作業に使いたいもの、タモ網（ある人）、バケツ（ある人）、バット（ある人）、その他生きものの観察に使いたいもの

【留意点】※刃物等の取り扱いは十分注意してください。

※枝や下草で擦れると思います。長袖長ズボンの着用を推奨します。

※泥の跳ね返り等で服が汚れる場合があります。汚れても良い格好でお越しください。（気になる方は着替えを準備願います。更衣室等は有りませんので予めご了承ください。）

※寒さが厳しい時期ですが、活動中は汗をかくほど暑くなる可能性があります。重ね着を基本とし、温度管理しやすい服装を推奨します。

※軍手は園芸用の手袋をお勧めします。

イベントの案内

横浜の未来を考えるみんなの集い「**はまみらい みんなフォーラム**」が野島青少年研修センターで開催されます。ふるさと侍従川に親しむ会からは侍従川生き物水族館を出展します。ぜひ、お友達を誘って遊びに来てください。

場所: 野島青少年研修センター

日時: 2026年1月17日（土）10：00～16：00

«編集後記» 今年もあつという間の1年でした。去年は侍従川のアシが刈られ、今年は大道一丁目緑地のソメイヨシノが伐採され、流域の環境が大きく変わりましたが、会の活動は変わらず続けていきます。来年もよろしくお願いします。（M.K）



会の活動はLINEグループでもお知らせしています。
登録はこちらから ⇒



侍従会のホームページはこちら

<https://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/>

これまでの会報を全て見ることができます。



この会報は、一般財団法人伊丹エール財団からいただいた寄付金で印刷しています。